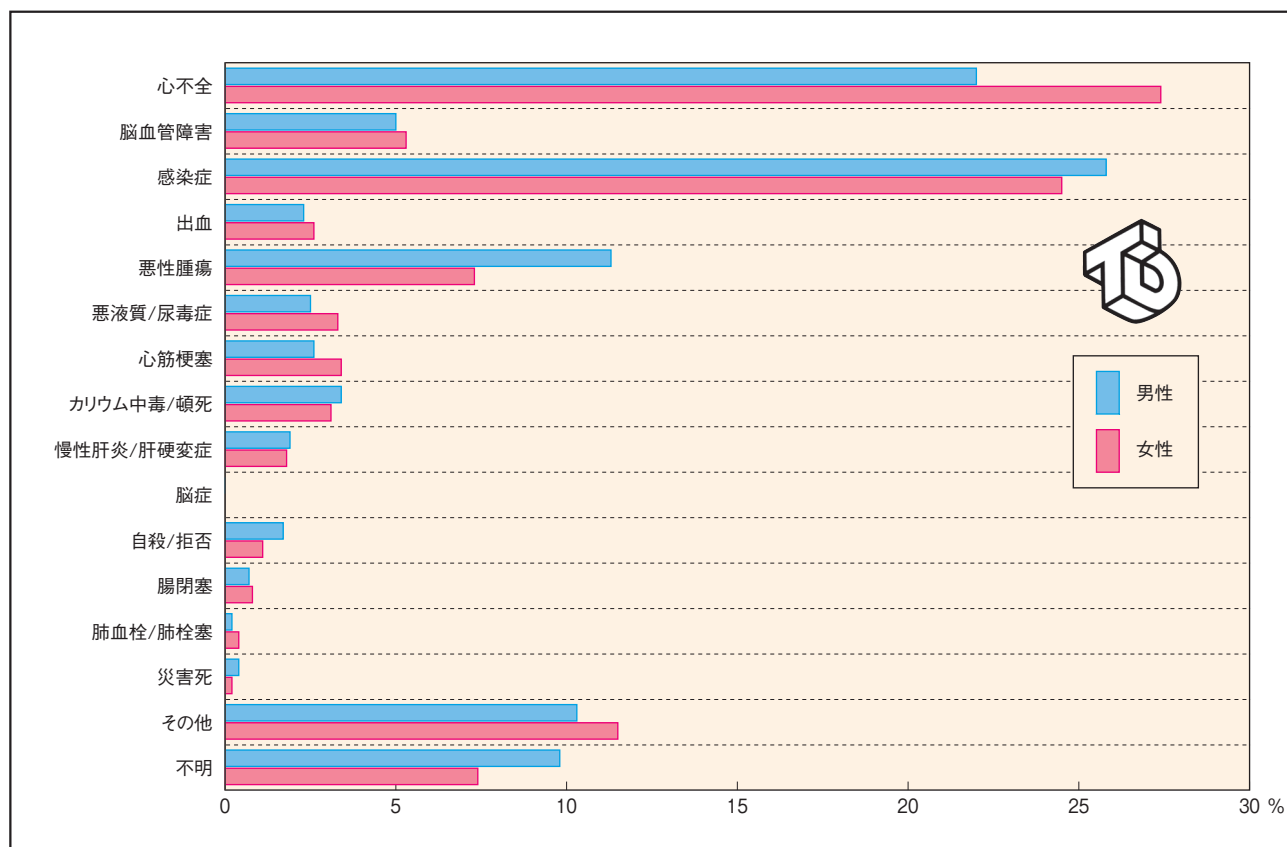


## 5) 死亡原因

### (1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	449	312	761		761	脳症	1		1		1
(%)	(22.0)	(27.4)	(23.9)		(23.9)	自殺/拒否	35	12	47		47
脳血管障害	103	60	163		163	(%)	(1.7)	(1.1)	(1.5)		(1.5)
(%)	(5.0)	(5.3)	(5.1)		(5.1)	腸閉塞	14	9	23		23
感染症	526	279	805		805	(%)	(0.7)	(0.8)	(0.7)		(0.7)
(%)	(25.8)	(24.5)	(25.3)		(25.3)	肺血栓/肺栓塞	5	5	10		10
出血	47	29	76		76	(%)	(0.2)	(0.4)	(0.3)		(0.3)
(%)	(2.3)	(2.6)	(2.4)		(2.4)	災害死	9	2	11		11
悪性腫瘍	230	83	313		313	(%)	(0.4)	(0.2)	(0.3)		(0.3)
(%)	(11.3)	(7.3)	(9.8)		(9.8)	その他	210	131	341		341
悪液質/尿毒症	51	37	88		88	(%)	(10.3)	(11.5)	(10.7)		(10.7)
(%)	(2.5)	(3.3)	(2.8)		(2.8)	不明	200	84	284		284
心筋梗塞	54	39	93		93	(%)	(9.8)	(7.4)	(8.9)		(8.9)
(%)	(2.6)	(3.4)	(2.9)		(2.9)	合計	2,042	1,137	3,179		3,179
カリウム中毒/頓死	69	35	104		104	(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)
(%)	(3.4)	(3.1)	(3.3)		(3.3)	記載なし	7	10	17	2	19
慢性肝炎/肝硬変症	39	20	59		59	総計	2,049	1,147	3,196	2	3,198
(%)	(1.9)	(1.8)	(1.9)		(1.9)						

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

患者調査による集計

#### 解説

2008年新規導入患者の2008年末までの死亡原因を性別に分類した図表である。5年前から死亡原因コードを国際疾病分類第10回修正版 (ICD-10) によるコード番号に変更した。男性では、感染症 (25.8%)、心不全 (22.0%)、悪性腫瘍 (11.3%)、その他 (10.3%) の順で多く、女性では心不全 (27.4%)、感染症 (24.5%)、その他 (11.5%)、不明 (7.4%) の順が多かった。男性の順序は2007年と同様であったが、女性では昨年一位であった感染症が減り、心不全が第一位であった。